

令和6年12月17日
札幌開発建設部**「第1回タンチョウと共存できる流域づくり協議会」を開催します**

タンチョウと共存できる持続可能な地域づくり及び健全な生態系ネットワークの形成に向けて、「第1回タンチョウと共存できる流域づくり協議会」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

平成28年度から長沼町と連携・協働し、舞鶴遊水地を軸としたタンチョウも住めるまちづくりの取組を進めてまいりました。

近年の石狩川流域におけるタンチョウの生息範囲拡大・飛来増加や繁殖といった背景を踏まえ、これまでの「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」における舞鶴遊水地を軸とした取組を、千歳川流域を軸とする石狩川流域における取組へ進化するため、「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」と連携・協働を図りながら、タンチョウと地域生活・産業との共存や、タンチョウを指標とする生態系ネットワークの形成に取り組み、持続可能な地域づくり及び健全な生態系ネットワークの形成に資することを目的として、「タンチョウと共存できる流域づくり協議会」を設立いたします。

記

- 開催日時 令和6年12月23日（月） 9：00～9：45
- 会場 札幌開発建設部 4階 1号会議室（札幌市中央区北2条西19丁目）
※対面+オンラインによる併用開催
- 議題 ・設立趣旨（案）、規約（案）について
・タンチョウと共存できる流域づくり協議会について
- その他 ・本協議会は、会場の都合上、一般の方はWEB上での傍聴のみとさせていただきます、対面での傍聴は報道機関のみとさせていただきます。
・傍聴を希望される方は、12月20日（金）12：00までに下記申込みフォームにアクセスし、登録をお願いします。期日までに登録いただいたWEB傍聴を希望される方には、別途WEB会議のURLを送付いたします。

【申込みフォーム】

URLもしくはQRコードから申込みフォームにアクセスし、必要事項に回答ください。
※回線容量の都合上、送付したURLは申込者限りとし、譲渡や公開等は行わないでください。

また、映像等を録画、録音、転載、複写も行わないでください。

URL：<https://forms.office.com/r/bWKSCv4FLD>



- ・会場でのカメラやビデオの撮影は、議事に入る前の冒頭のみとさせていただきます。
- ・会議資料及び議事要旨は、後日札幌開発建設部のホームページに掲載いたします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

河川計画課 課長 森田 共胤（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

流域治水対策専門官 鈴木 史郎（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

第1回タンチョウと共存できる流域づくり協議会 委員名簿

	氏名	所属等
学識者 (50音順)	赤坂 猛	一般社団法人エゾシカ協会 理事
	中村 太士	北海道大学 名誉教授
	久井 貴世	北海道大学大学院 文学研究院 人文学部門 博物学研究室 准教授
	正富 宏之	専修大学北海道短期大学 名誉教授
自治体	上野 正三	北広島市長
	齋藤 良彦	長沼町長
行政機関	峰 隆典	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 次長
	五十嵐 幸雄	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所長
	正国 之弘	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 江別河川事務所長
	西野 雄一	環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課長
	篠原 朋美	北海道 空知総合振興局 保健環境部 くらし・子育て担当部長
	松本 香織	北海道 石狩振興局 保健環境部 くらし・子育て担当部長

石狩川流域における生態系ネットワーク形成に向けた体制について 【参考資料】

これまでの舞鶴遊水地を軸とした「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」（平成28年9月設立）については、タンチョウの生息範囲拡大・流域への飛来増加といった背景を踏まえ、「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」と連携・協働を図りながら、千歳川流域を軸とする石狩川流域における取り組みへ進化するため「タンチョウも住めるまちづくり推進協議会」として発展的に改組する。

石狩川流域生態系ネットワーク協議会（R5年度設立）

- 目的：多様な主体の連携と協働のもと健全な生態系ネットワークの形成に取り組み、生物生息環境を保全・再生するとともに、豊かな自然資本の持続的な活用による地域振興の実現を目的とする。
- 協議事項：石狩川流域における河川及び流域内の生物生息環境の保全・再生に関すること
石狩川流域における生態系ネットワークを活用した地域産業の振興に関すること
石狩川流域における生態系ネットワークを活用した環境教育・市民参加の促進に関すること
その他、前条の目的を達成するために必要な事項
- 委員：学識者、石狩川流域の自治体、関係行政機関、関係団体、企業・NPO



連携・協働



タンチョウと共存できる流域づくり協議会（R6年度）

- 目的：協議会は、石狩川流域におけるタンチョウの生息範囲拡大・飛来増加や繁殖といった背景を踏まえ、「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」と連携・協働を図りながら、**タンチョウと地域生活・産業との共存や、タンチョウを指標とする生態系ネットワークの形成に取り組み、持続可能な地域づくり及び健全な生態系ネットワークの形成に資することを目的とする。**
- 委員：学識者、自治体、関係行政機関等

シンボル種または重要な生態系ごとの推進協議会

シンボル種または重要な生態系ごとの推進協議会

タンチョウとの共存やシンボル種としての活用等を目指す複数の自治体が参画する組織に改組

生息環境専門部会

- タンチョウを指標とした生態系ネットワークの形成及び地域生活・産業との共存や、遊水地の利活用との共存に関して必要となる事項の協議。
- 委員：自治体、学識者、関係行政機関等

地域づくり専門部会

- タンチョウを指標とした地域振興・経済活性化の実現に向けて必要となる事項の協議。
- 委員：自治体、学識者、地域のステークホルダー等

※ 市町の実情に応じて、具体的に議論の必要性が生じた段階で設置